

記入例

※交付申請書は、必ず申請者本人が記入・押印してください。

様式第1号

朝霞市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付申請書

平成 23 年 6 月 5 日

朝霞市長 宛

住所 **朝霞市本町〇-〇-〇**
 (申請者) 氏名 **朝霞太郎** 印
 電話 **048-4xxxx-xxxx**

朝霞市住宅用太陽光発電システム設置費補助金の交付を受けたいので、朝霞市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

発電システムを設置する場所	朝霞市 本町〇-〇-〇
発電システム設置に要する経費	2,000,000 円 (消費税額を含む)
補助事業の予定時期	着手予定日 平成 24 年 6 月 19 日 完了予定日 平成 24 年 7 月 24 日
発電システムを設置する状況 (どちらかに〇)	既設の家屋に設置・家屋の新築と同時に設置
太陽電池モジュールの最大出力値 (小数点以下第3位を四捨五入)	3.15 kW
補助金交付申請額	7万円 × 3.15 kW → ※ 220,500 円 ※ただし、25万円を超える場合は25万円を限度とします。

添付書類

- (1) 発電システムの経費の内訳および仕様が明記されている工事請負契約書又は見積書の写し
- (2) 工事着手前の現況写真
- (3) 朝霞市への転入予定者および1月2日以降の転入者は、昨年の市区町村住民税納税証明書

補助金の振込先

金融機関名	〇〇〇 銀行 信用金庫 農協	店名	xxx 本店 支店 出張所
預金種別	普通 ・当座	口座番号	1234567
口座名義 (申請者本人)	フリガナ アサカタロウ 朝霞太郎		

※申請内容につきまして、審査のため環境保全課職員が市税の納税状況を確認させていただきますことをあらかじめご了承ください。

← 申請書を市役所に提出する年月日を記入する。

← 申請者の申請時の住所を記入する。

← 申請者の氏名の記入と必ず押印をする。

← 申請者(上記住所)の電話番号を記入する。

← 発電システムを設置する場所(住所または地番)を記入する。

← 発電システムの設置に要する費用の総額を記入する。

← 工事に着手する予定年月日を記入する。

← 工事が完了し、竣工検査の実施予定年月日を記入する。

← 該当するほうに〇をつける。

← 太陽電池の最大出力値をkW表示とし、**小数点以下第3位を四捨五入した値を記入する**。最大出力値が10kW以上の発電システムは補助対象になりません。

← 1kW当たり7万円に太陽電池の最大出力値を乗じて得た金額を記入する。(太陽電池の最大出力が3.58kW以上は限度額の250,000円となります。)

← 経費の内訳が明記されている工事請負契約書又は見積書の写しと、発電システム設置前の住宅の全体写真を添付する。(既存の住宅を取り壊し、住宅の新築と合わせて発電システムを設置する場合は、新築前の更地の状態の写真でも可とする。)

補助金の振込先の金融機関名、店名、預金種別、口座番号、口座名義(申請者本人に限る)を正確に記入する。

← ※ 例年「どの銀行の口座を振込先に指定したか忘れてしまった」といった問い合わせをいただきます。複数の金融機関に口座をお持ちの方は、提出前に申請書のコピーをとるなど、指定口座の把握をお願いします。